

《本部事務局より》

☆第66回建築士会全国大会鹿児島大会について

- 開催日：令和6年10月25日(金)
- 開催地：宝山ホール(鹿児島市)
- 申込方法：今回よりWebシステムにて先着順で受付
- 申込期間：令和6年6月3日(月)13:00～7月26日(金)17:00迄
※詳細は、「建築士」5月号をご覧ください。
- 助成金：大会参加者に対して、1万円助成いたします。参加申込、ご入金後にマイページからダウンロードできる「確認書」持参の上、支部事務局までお越しください。
- 助成金申請締切：令和6年9月20日(金)迄



大会お知らせ HP

《まちづくり委員会からのお知らせ》

☆景観バスツアー札幌近郊シリーズ第3弾を開催します。

「建築士の日」関連事業の景観バスツアーを復活開催します。

- 日時：令和6年7月6日(土) 9:45 JR 恵庭駅東口ロータリー集合
16:40 JR 北広島駅 / 17:15 新さっぽろ駅解散
- ※集合場所と解散場所が異なりますのでご注意ください。
- ※希望者は肉フェス開催中のエスコンフィールドで途中下車が可能です。(要申告)
- 定員：会員 10名 会員外・学生 35名
- 参加費：会員 1,000円 会員外 1,500円 学生 500円(※昼食弁当を含みます)
- 目的地：恵庭～北広島方面 ※予定見学場所 2次元コード[案内おしらせ]参照
- 申込締切：6月28日(金)
- 申込方法：右記 URL：<https://forms.gle/9kfyh3wmxsZWAy797>
右記「申込フォーム」2次元コードより申込み下さい
- ※札幌軟石の兄弟分の「島松軟石」や縄文期の重要文化財「漆塗り装身具」、明治期の開拓入植の史跡から、道内最新のまちづくりまでを巡ります。
ご参加お待ちしております。



案内おしらせ



申込フォーム

《住教育特別委員会よりお知らせ》

☆グループ講師養成講座のご案内

本年度は3校の高等学校で間取りキットを使った出張講座が決まっております、新たに講師として参加希望の方に向けて「グループ講師養成講座」を開催します。

- 開催日：令和6年6月15日(土)14:00～大五ビル2階会議室(詳細は6月号に)
- 申込締切：令和6年6月12日(水)



申込フォーム

《交流委員会からのお知らせ》

☆令和6年度建築士会ゴルフコンペ開催！

建築士会主催のゴルフコンペのスケジュールが確定致しました。

- 日時：令和6年6月22日(土)7:00スタート(※6:30までに受付)
- 申込締切：令和6年6月10日(月)
- 参加費：2,000円 プレー代11,910円 ロッカー330円 食事代、買物は各自精算。
- 場所：「札幌リージェントゴルフ倶楽部 トムソンコース」※新旧コース奥
- 申込書：https://h-ab.com/sapporo/pdf/kouryu/kouryu_golf_2024.pdf 左記 HP 申込書へご記入の上 Faxにてお申込み下さい。
※皆様お誘い合わせの上、ご参加お待ちしております。

《クラブ活動のお知らせ》

☆札幌支部クラブ活動のお知らせ

■皆さんも士会仲間でクラブ活動しませんか？！

『グルメの会』『ボウリング部』は第1回が活動開始されました～！

『登山(ハイキング)部』『カーリンコン部』『そば部』が続々スタート予定です。

参加希望の方は下記HPから参加票にて、事務局までご連絡下さい。

<https://h-ab.com/sapporo/about/sapporo-club.html>



●北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

・ 視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

・ 6月パスワード：Otr044

『失敗から学ぶ』VOL.25

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

◎今回のテーマ【自家発電機室の構築】

自家発電機室など消防法(小量危険物)の対象となる室は、建物に対する規制(要求事項)を知らないと大きな手戻りが生じます。意匠設計者と設備設計者が詳細な調整をすることが必須であり所轄の消防署に事前協議などで細かい確認が必要です。

また、設備が主体となる室は設備設計者、設備協力会社を中心になって進めることが多いですが建築関係者も要点を理解して工事を進めることが重要です。

■自家発電機室の外部扉：防火戸

消防署から自家発電機室の外部に面した扉を防火戸にするよう指摘を受けた。

自家発電機室は防火区画の対応が必要であることを認識していたが設計図の外部扉がノーマークだった。

※一般仕様の外部扉を防火扉に是正した。窓ガラスの規制も有るので要注意！

危険物の規制に関する政令により外部に面した扉でも建具は防火設備を要求されます。

■自家発電機室床：不燃仕上+勾配

自家発電機室の床仕上をウレタン系防塵塗装で設計したところ、消防署から不燃材の床仕上とすること、床に勾配を設置するよう指摘を受けた。

※油配管から油が漏れた場合は溜槽に貯留するため床勾配が必要。

工事中に設計変更で床に勾配を追加することは、周囲の室や機器とのレベル調整・勾配を設置するための嵩上げコンクリートのスラブ積載荷重の対応など大きな手戻りとなる。

■自家発電機室の区画壁

自家発電機室の区画壁をECP板厚 60 ミリで設計したところ消防署からECP板での区画は不可と指摘された。建築基準法の耐火 1 時間の認定品であるが消防法の規定を満足できなかった。

※ALC 板に変更して是正した。ただし外壁に ALC 板を使用する場合は凍害対策への配慮が必要。

自習型認定研修の設問



設問 1

自家発電機室壁・扉で正しいのはどれか？

- 区画壁は耐火 1 時間認定品とする。
- 外部に面する扉は防火戸とし結露防止のウレタンを充填する。
- 区画壁は ALC 板厚 75 ミリ使用可能。

設問 2

自家発電機室床で正しいのはどれか？

- 防液堤を設置すれば床の勾配は不要。
- 床の勾配は 1/100 以上必要。
- エポキシ系の塗床は使用不可。

認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスの上、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。